

令和6年度 児童相談所関連研修

児童心理司(基礎)Ⅰ

日 程

10月7日(月)・24日(木)

【2日間】

対 象

子ども家庭福祉・母子保健等に携わる職員【定員80名】
※本研修は、昨年度まで「児童心理司(1~2年目)Ⅰ」
として実施していましたが、経験年数によらず受講して
いただくために名称変更しました。

ねらい

児童心理司として求められる役割を理解するとともに、基礎
的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子ど
もと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他
機関との連携によるケースへの対応力を習得する。

場 所

特別区職員研修所(東京区政会館別館)
(千代田区九段北1-1-4)

内 容

児童心理司としての基礎的な業務の理解、虐待が子ども
に与える影響及びその包括的なアセスメントについて学び
ます。また解決志向アプローチの面接手法を習得するた
めの演習を行います。

予 告

令和6年11月、今回とは異なるカリキュラムで「児童心理司(基礎)Ⅱ」を
実施予定です。詳細は次号の実施要領にてご案内します。

※研修カリキュラムは、次ページに掲載しています。

【問合せ先】特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係
TEL: 03-6261-1577

カリキュラム

10月	教科目・講師名（敬称略）	内容
7日 (月)	<p>9:00～17:00</p> <p>(第1部) 児童虐待対応と心理職の役割 愛着とトラウマのアセスメント</p> <p>(第2部) 虐待を受けた子どもの心理的アセスメント</p> <p>【講師】大阪府貝塚子ども家庭センター（児童相談所）職員</p> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>主な著書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虐待を受けた子どものアセスメントとケア：心理・福祉領域からの支援と協働」 鶴飼奈津子共著 誠信書房（2021） ・「このまま使える！子どもの対人関係を育てるSSTマニュアル」 大阪府立子どもライフサポートセンター、大村香奈子共編 ミネルヴァ書房（2014） <p>こども家庭庁 令和5年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業「児童相談所における児童心理司の役割と人材育成についての調査研究」（2023）の検討委員会構成委員を務める。</p> </div>	<p>(第1部) まずは児童虐待対応とリスクアセスメントについて検討し、その上での児童心理司に求められる役割について概説します。 また、愛着（アタッチメント）とトラウマのアセスメント方法と大切なポイントについて学んでいきます。</p> <p>(第2部) 虐待を受けた子どもの心理的影響をどのように見立てるか、また「面前DV」、「非行」、「性暴力」といったケースのアセスメントについて検討をします。</p>
24日 (木)	<p>9:00～17:00</p> <p>解決志向アプローチ</p> <p>【講師】原宿カウンセリングセンター 所長 田中 ひな子</p> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>主な著書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちにとけこむ公認心理師」 津川律子、遠藤裕乃共編 日本評論社（2023） ・「虐待・DV サバイバーにおけるレジリエンス」 臨床心理学, 22（2）特集「はじまりのレジリエンス」 金剛出版（2022） ・「解離と出会うときーアディクション臨床の現場から」 こころの科学 221, 特別企画「解離に出会うとき」 日本評論社（2021） ・「実践アディクションアプローチ」 信田さよ子編著 金剛出版（2019） </div>	<p>面接の進行や具体的な言葉の選び方について学び、実務で役立つ解決志向アプローチの技法を習得します。</p>
計	14時間（2日間）	